

胃瘻造設術を受けられる患者様へ

月/日	/	/	/	/	/	/	胃瘻を造ったあとは、状態をみて転院となる場合があります。 抜糸は転院先で行う場合もあります。（造設から2週間後）
経過	入院	手術前・手術後	手術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	
目標	1.創部に問題がない 2.痛みのコントロールができる			1.創部に問題がない 2.痛みのコントロールができる 3.栄養摂取ができる			
処置	手術は基本的に午後からです。 手術後2時間まで胃瘻から管で内容物を排出します。		1.創部の消毒があります。1日1回 2.ボタンを午前・午後の2回、回転させます。				
薬剤	点滴を開始します。 術後2日目まで24時間持続点滴抗生剤の点滴が 手術前から翌日まで（午前・午後あります。）				注入食が問題なく行えれば、点滴はありません		
検査	状態によっては追加の検査を行う場合があります。		朝：採血		必要時、レントゲンやCT検査、追加の採血を行う場合があります。		
活動	医師の説明通り						
白湯注入	手術前日まで、食事（注入食可）		術後1日目の昼から胃瘻より白湯の注入を開始します。				
食事	絶食 		術後2日目 朝より胃瘻からの注入食を開始します。				
清潔	 体拭きをします。 シャワーや入浴は抜糸後（2週間後）から可能です。						
排泄	 自由						
説明 その他	次回の交換は4ヶ月後 です。基本的には当院で行いますが、胃瘻の種類によっては、他院での交換となる場合があります。 初回交換後は4ヶ月後 以降は6ヶ月後の交換が必要となります。 						

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わることもございます

2021年1月1日 クリニカルパス委員会承認